

目指す子供の姿

- 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
- 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し、豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
- 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとすることができる。

目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

①造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表す学習活動の充実

- ◇形や色彩、材料や光などの造形の要素に着目してそれらの働きを捉える学習活動を設定する。
- ◇全体に着目して造形的な特徴などからイメージや作風などを捉える学習活動を設定する。
- ◇発想や構想したことを基に創造的に表す技能の習得を図る学習活動を設定する。
- ◇自分の表現意図に合う表現形式や技法、材料などを選択する学習場面を設定する。
- ◇試行錯誤しながら創意工夫する学習場面を設定する。

②主題を生み出し豊かに発想し構想を練る学習活動の充実

- ◇主題を生み出し、自己の夢や目標を表現することで自己実現を体現する学習活動を設定する。
- ◇「A表現」と「B鑑賞」の相互の関連を図る学習場面を設定する。

③美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める学習活動の充実

- ◇美術作品や、生活や社会の中の美術の働きや美術文化について、自分の価値意識をもって批評し合う言語活動の場面を設定する。
- ◇地域の美術館等との連携を検討し、鑑賞活動の充実を図る。

④ICTの効果的な活用による表現及び鑑賞の活動の充実

- ◇表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育むことを目指す授業改善の手段として、ICTを効果的に活用する。